

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：塩素酸ナトリウム

製品番号 (SDS NO)：D005280-2

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：試験研究用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：国産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署：品質保証部

FAX：0120-11-5930

e-mail address：cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先電話：0120-81-5930

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

酸化性固体：区分 2

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ：酸化性物質

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類及び可燃物から遠ざけること。

可燃物と混合を回避するために予防策をとること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

酸化性がある物質である。有機物、可燃性物質を発火させる恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

化学物質

化学的特定名：塩素酸ナトリウム

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号	memo1	化学式
塩素酸ナトリウム	-	7775-09-9	1-239	-	ClNaO3

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

塩素酸ナトリウム

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入：咳、咽頭痛、紫色(チアノーゼ)の唇/爪/皮膚、錯乱、痙攣、めまい、頭痛、吐き気、意識喪失。

皮膚：発赤。

眼：発赤、痛み。

経口摂取：腹痛、下痢、息切れ、嘔吐。他の症状については「吸入」参照。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

不燃性だが、他の物質の燃焼を助長する。

多くの反応により、火災や爆発を生じることがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

区域から退避させること。

霧状水により容器を冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるため湿らせてから掃き入れる。

残留分を注意深く集め安全な場所に移す。

おがくず他可燃性物質に吸収させてはならない。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策****(火災・爆発の防止)**

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

衣類及び可燃物から遠ざけること。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

粉じんの堆積を防止する。

安全取扱注意事項

可燃物と混合を回避するために予防策をとること。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

取扱い後はよく手を洗う。

汚染された衣服は(火災の危険があるため)、多量の水ですすぎ洗います。

保管**安全な保管条件**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：結晶または顆粒

色：無色(結晶)または白色(顆粒)

臭い：無臭

融点/凝固点：248℃

沸点又は初留点：知見なし

可燃性(ガス、液体及び固体)：不燃性

分解温度：300℃で酸素を発生し始め、その温度以上で分解する。

pH：水溶液は中性

溶解度：

水に対する溶解度：約1kg/liter(冷水)、約2kg/liter(沸騰水)

溶媒に対する溶解度：アルコール：約7.7g/liter、グリセロール：約250g/liter

密度及び/又は相対密度：2.5g/cm³

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

300℃以上に加熱すると分解し、火災の危険性を増大させる酸素や有毒なフューム(塩素)を生じる。

強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

多くの有機物と反応し、衝撃に敏感な混合物を生成し、爆発の危険をもたらす。

亜鉛、スチールを侵す。

避けるべき条件

熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

還元性物質、可燃性物質、有機物

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、酸素、塩素、塩素化合物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

区分外: 雌雄ともラットLD50 > 5000 mg/kg(農薬登録申請資料、1973)であるため。

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

区分外: 雌雄ともラットLD50 > 5000 mg/kg(農薬登録申請資料、1973)であるため。

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

区分外: 雌雄ともラットLC50 > 5 mg/L であるため(農薬登録申請資料、1990)。

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

In vivo試験データがなく分類できない。なお、In vitro試験のAmes試験および染色体異常試験では陰性であった(農薬登録申請資料、1979、1990)。

発がん性データなし

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

ラットおよびウサギを用いた催奇形性試験では影響はみられなかったが(農薬登録申請資料、1990、1991)、生殖能への影響が検討されておらず、分類できないとした。

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50>100mg/L(農薬登録申請資料、2004)から、区分外とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

難水溶性でなく(水溶解度=1.00 × 105mg/L(PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

水溶解度

10 g/100 ml (PHYSPROP Database、2005)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし
土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1495
正式輸送名 :
塩素酸ナトリウム
分類または区分 : 5.1
容器等級 : II
指針番号: 140
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 特別の安全対策
食品、飼料と一緒に輸送してはならない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

航空法

酸化性物質類 酸化性物質 分類5 区分5.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

劇物 (令第2条)

塩素酸ナトリウム98%(法令番号 18)

労働安全衛生法

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・酸化性の物

消防法

危険物

第1類 酸化性固体 危険等級 I(指定数量 50kg)

火薬類取締法

火薬類

塩素酸ナトリウム

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

水質汚濁防止法

指定物質

塩素酸ナトリウム

法令番号 48

適用法規情報

海洋汚染防止法: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

港則法: その他の危険物・酸化性物質類(酸化性物質)(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

道路法: 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

輸出貿易管理令別表第1の1項

輸出貿易管理令別表第1の16の項

輸出貿易管理令別表第1の4項

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.22 (<https://www.asahi-ghs.com/>)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。